

令和7年8月
第167号

ひまわり通信

株式会社ヨコレイ ひまわり発電所

皆様こんにちは、ヨコレイひまわり発電所です。まだまだ暑い日が続きますね。
水分と塩分を適切に摂って、元気に乗り切りましょう。
それでは今月も、ひまわり通信にお付き合ってください。

SDGs 目標年まであと5年 169の目標の半数近くが進捗遅い：国連が報告書

「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の採択から10年が経過し、米ニューヨークの国連本部は7月14日、10回目の年次進捗報告となる『持続可能な開発目標（SDGs）報告2025』を発表しました。同報告書では、SDGsで定めた全169の目標のうち、「順調に進んでいる」または「ある程度前進している」ものは35%に過ぎない一方、半数近くの目標の進捗はあまりにも遅く、18%は「後退」していると厳しく評価しました。同時に、持続可能な開発の前進を妨げ続けている課題として気候変動や紛争、貧困などを挙げています。子供の死亡率改善など世界的な成果が確認されている分野があるものの、現在のペースのままでは2030年までにSDGsを達成することは困難です。報告書は取組みを強化すべき優先分野として、食料システム、エネルギーへのアクセス、デジタル技術の活用、教育、雇用と社会的保護、気候行動と生物多様性対策を挙げています。



「前進している」と評価された点

- ・5歳未満児の发育阻害の割合が26.4%から23.2%に減少（2012年比）
- ・世界の妊産婦死亡率が、出生10万人あたり228人から197人に減少（2015年比）
- ・5歳未満児の死亡率が、出生1,000人あたり44人から37人に減少（2015年比）
- ・54カ国において少なくとも1種類の「顧みられない熱帯病（※）」が根絶された
- ・差別的な法律の撤廃やジェンダー平等の枠組みの確立に向けた99の前向きな法改正が行われた
- ・再生可能エネルギーが急速に成長し、2025年には石炭をしのぐ主要電力源となる見通し
- ・5Gのモバイル・ブロードバンドが世界人口51%に普及

「後退している」と評価された点

- ・世界人口の9%が極度の貧困の中で暮らしている
- ・世界で11人に1人近くが飢餓に直面
- ・2億7,200万人の子どもや若者が学校に通えていない
- ・女性が行う無給の家事やケア労働は、男性の5倍
- ・22億人が安全に管理された飲料水を得られず、34億人が安全に管理された衛生施設なしで生活し、17億人が自宅で基本的な手洗い設備を利用できていない
- ・世界の難民の数が3,780万人へと急増した
- ・11億2,000万人がスラム街やインフォーマルな居住地に暮らし、基本的サービスを受けられていない
- ・2024年には、それまで5年連続で増加していた政府開発援助が1%減少し、2025年にかけてさらに削減される見通し

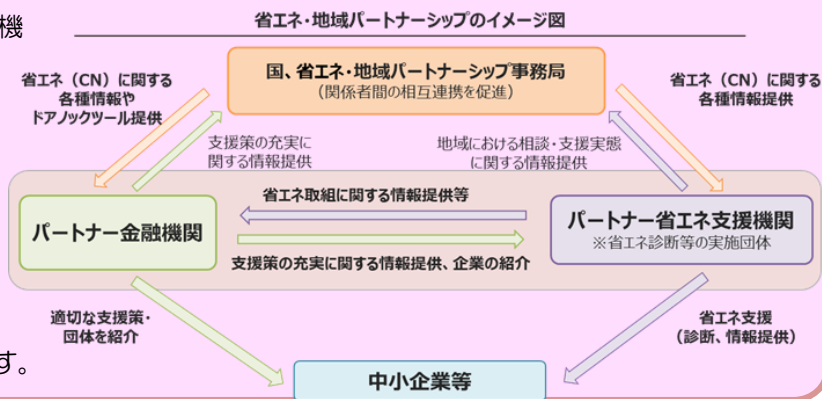
「報告書はSDGsがまだ達成可能であることを示しています。ただしそれは、私たちが緊急性、団結、揺るぎない決意と共に行動した場合に限られます」と、アントニオ・グテーレス国連事務総長は述べています。

※顧みられない熱帯病・・・デング熱や狂犬病、ハンセン病などの17の疾病群を指す。貧しい遠隔地や都市スラム、紛争地帯などに集中しているため、世界からあまり関心が向けられず十分な対策がとられてこなかった。大半は、生活水準・衛生環境の改善により予防と制圧が可能。

中小企業の省エネ支援、地銀に計画公表促す 26年度から

経済産業省は、中小企業等の省エネを支援する体制を構築するため、地域の金融機関や省エネ支援機関等と連携する枠組みとして2024年に立ち上げた「省エネ・地域パートナーシップ」を2026年度より拡充します。国内企業の99.7%を占める中小企業の省エネ化は、脱炭素社会の実現に不可欠とされています。中小企業が社屋や工場のエネルギー利用を効率化するには、「省エネ診断」でエネルギー消費状況や改善計画を把握することが重要です。地銀は、省エネ診断機関と中小企業をつなぐ役割を担い、企業が省エネ診断に基づき設備更新を進める際、経済産業省の省エネ補助金の取得支援や、導入費用の融資を期待されています。現在、横浜銀行や千葉銀行など国内のおよそ200の金融機

関や省エネ支援機関が、パートナー機関として参加しています。2026年度から、地方銀行は中小企業への省エネ支援の計画公表が求められます。同省は各行の計画を一覧で公開し、省エネ支援に熱心な金融機関を評価するほか、省エネ支援に熱心な金融機関を表彰する制度の導入を検討しています。



新井町盆踊り大会の準備・片付け

8月11日（日）、地元の新井町町内会が主催する盆踊り大会が開催されるにあたり、設営と後片付けのお手伝いを同月8日（金）と12日（火）にそれぞれ行いました。猛暑の中でしたので、空調服を着用するなど熱中症対策を十分に行い、資材運搬やテント設営、仮設トイレ設置などを行いました。町内会役員の皆様にはとても喜んでいただきました。



普通救命講習を受講しました

この度、当社の新たな取り組みとして、全社員が普通救命講習を受講することになりました。まずは各自がインターネットで講義動画の視聴をした後に確認テストを受け、7月24日（木）午前・午後の部と8月28日（木）午後の部の計3回に分かれて、保土ヶ谷消防署にて成人に対する心肺蘇生法（胸骨圧迫や人工呼吸）、AED（自動体外式除細動器）の正しい使用法を中心とした実技を学びました。社員一人ひとりが人命救助の基礎的な知識とスキルを獲得し、行動力を持つことで緊急時に備えて参ります。



☀️ヨコレイ太陽光発電 先月の実績☀️ (期間：7/2～8/1) ※（ ）内は先々月の実績

- 発電した電気量 : 1343.6 kWh ↑
(1166.0 kWh)
- 東電への売電量 : 411.0 kWh ↑
(394.0 kWh)
- 売電金額 : 3,493 円 ↑
(3,349 円)

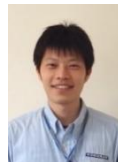
■この期間の横浜市の天気概況 <気象庁HPより>
※（ ）内は前月の数値

日照時間：270.7 時間 (201.1 時間) ↑
平均最高気温：32.5℃ (28.8℃) ↑

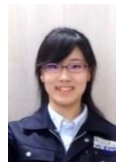
私たちが『ひまわり通信』を担当しています



アゲナ



カサノ



イノウ



クロダ

(株)ヨコレイ 法人向け太陽光発電

ひまわり発電所

<https://yokoray.co.jp/himawari>

0120-37-4501

(受付時間 9:00～18:00 土日祝日を除く)

※本紙の配信停止をご希望の方は、ご連絡ください※

